「学校における働き方改革　取組の重点項目と主な取組内容」（アクションシート・学校版）　記入例はこちら

学校名　富士河口湖高等学校

（※1）【主な取組内容の詳細】を確認	（※2）【取組の重点項目「独自①・独自②」】を記入	（※3）【年度ごとの取組項目】を決定	（※4）【年度ごとの達成状況】を記入
取り組みの詳細（※1）から確認	年度始めに ①取組主体ごとの独自の取組を記入する（任意） ②各重点項目の取組で、独自の取組が3つ以上ある場合は、「6. 各取組主体のその他の独自取組」の「独自①」～「独自⑩」に内容を記入し、年度末に評価する	年度始めに 「○」：本年度取り組む項目 「－」：本年度は取り組まない項目 ※取り組まない理由を【年度ごとの達成状況】の【分析】の欄に記入	年度末に 《評価の欄》 A：達成できた　B：ある程度達成できた　C：あまり達成できなかった　D：達成できなかった ※「年度ごとの取組項目」が「－」の場合は「－」を選択 《分析の欄》 評価が「C」または「D」の場合、その要因等、分析結果を記入 ※「取り組みの重点項目1」の④については、評価にかかわらず「きずなの日」の実施回数を記入

取組の重点項目 1　取り組みの詳細（※1）
【勤務時間管理の徹底及び適切な勤務時間の設定】

	年度ごとの取組項目（※3）				年度ごとの達成状況（※4）							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①勤務時間管理の徹底	○	○			B	ICT等を活用して、客観的に計測した。						
②効果的な勤務時間の割り振り	○	○			B	必要に応じて時差出勤を活用した。						
③学校閉庁日の設定	○	○			A	夏季休業中の学校閉庁日を設定した。						
④「きずなの日」の着実な推進	○	○			A	実施回数　23　回		実施回数　回		実施回数　回		実施回数　回
⑤定時退校日及び退校時間の設定	○	○			C	設定したが、十分とは言えなかった						
⑥1年単位の変形労働時間制についての検討	－	－			－	制度運用の見通しが立っていないため						
独自①（※2）　年次有給休暇を10日以上取得	○	○			B	約6割の教員が達成した。						
独自②（※2）　夏季休暇（5日間）の完全取得	○	○			A	ほぼすべての教員が達成した。						

取組の重点項目 2　取り組みの詳細（※1）
【勤務時間・健康管理を意識した働き方の徹底】

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①管理職のマネジメント力の向上・リーダーシップの発揮	○	○			B	教職員の勤務時間、負担感等を適切に把握した。						
②一人ひとりの教職員による働き方の見直し・意識改革	○	○			B	働き方改革に関する取り組み方針を周知した						
③教職員の健康サポート・教職員の健康管理の推進	○	○			B	長時間勤務者を把握し、働き方の改善に努めた。						
独自①（※2）　学年主任連絡会等を通じて、教職員の健康管理・情報共有の推進	○	○			A	主任会等で健康管理の重要性を周知した。						
独自②（※2）												

取組の重点項目 3　取り組みの詳細（※1）
【校務の精選・効率化・明確化】

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①業務の役割分担の見直しと適正化	○	○			A	分掌再編を行い、業務の平準化に努めた。						
②各学校の実情を踏まえた行事・会議等の見直しと、「アクションシート」の作成と検証	○	○			B	学校行事の見直しに取り組んだ。						
③ICT等を活用した業務改善の支援	○	○			A	職員会議等のペーパーレス化を実施した。						
④外部人材の確保・活用	○	○			C	ICT支援員の活用が十分ではなかった。						
⑤会計業務の管理に係る検討	○	○			B	学校徴収金の管理方法を変更した。						
⑥若手教員のサポート	○	○			B	管理職やベテラン教員が日常的に声掛けをした。						
⑦事務職員と教員の連携・協働の推進	○	○			B	事務職員の学校参画への意識付けに取り組んだ						
独自①（※2）												
独自②（※2）												

取組の重点項目 4　取り組みの詳細（※1）
【PTA・地域・関係諸団体との連携】

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
① PTA・保護者・地域の理解を求める取組の実施	○	○			B	学校評議員会等で勤務実態への理解を求めた						
独自①（※2）　マナーアップ運動や学校行事へのPTA・保護者の参画	○	○			A	PTA・保護者に各種行事での協力を求めた。						
独自②（※2）												

取組の重点項目 5　取り組みの詳細（※1）
【部活動運営の適正化・部活動指導の負担軽減】

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①部活動ガイドラインの遵守	○	○			B	部活動のガイドラインに則した活動を行った						
②部活動指導員等外部人材の活用	○	○			B	外部指導者を積極的に活用した。						
③休日の部活動の段階的な地域移行（中学校）	－	－			－	県立学校のため						
独自①（※2）												
独自②（※2）												